

# KBI NEWS



関西聖書学院

〒630-0266 奈良県生駒市門前町 22-1  
TEL:0743-70-8600 FAX:0743-70-8601  
編集・発行人：高橋 めぐみ  
E-mail : kbi-mark117@ares.eonet.ne.jp  
HP : <https://www.kbiwave.com>  
郵便振替：001140-6-67708  
銀行：尼崎信用金庫上ヶ原支店 普通 0015453

## 国際部構想の進展

関西聖書学院 理事・顧問

大田 裕作



国際部玄関前で

来年十月、来日宣教師のための  
の三か月の訓練コースが開講し  
ます。それに先駆け、寮と集会  
室を兼ね備えた施設が関西聖書  
学院別館として誕生しました。

\*

KBIにおける国際部の必要  
をドウゲン先生が訴え始められ  
たのは二〇二一年の秋だったか  
と記憶します。来日する宣教師  
の多くが日本語、日本文化、日  
本の教会事情を十分習熟しない  
ままに、現場に入っつていった結  
果、宣教師も受け入れ側も互い  
に不満を感じながら短期で帰国  
するという事情を憂えての発題  
でした。これを受けて準備委員

会が立ち上がり、具体的にコー  
スの期間、対象者、費用、講師陣、  
また独自の施設の必要が語られ  
ました。施設はKBIから徒歩  
五分くらいで、KBIのスピリッ  
トに触れてもらい、本科生とも  
適度な交流をもつて相互に刺激  
を受け得るようにすることが理  
想などと話されました。

日本は未伝部族です。宣教学  
的な考察では人口の二%以下の  
信者しかいないグループを未伝  
部族と規定します。二%を超え  
ないと自力では自民族を十分に  
伝道できないという国際的な経  
験値からの分類です。悔しい話  
ですが、日本はまだ外部からの  
助けを緊急に必要とする状態で  
す。急いでこの助け手との協力  
を緊密にしないと、宣教が進ま  
ないのです。つまりこの国際部  
構想は、海外の宣教勢力と国内  
の教会をつなぎ合わせる貴重な  
役割を担います。委員会を重ね  
るうち、KBI卒業生が牧会し  
ている教会の信徒さんから、  
KBIへ献金の申し出をいただ

きました。その方の息子さんの  
働きと、国際部構想の精神が合  
致していたようで、「その捧げも  
のを国際部に用いたい」とお伝  
えますと、驚きながら大変喜  
んでくださいました。私たちも  
これは主の導きと受け取り、周  
辺の物件探しを続けました。こ  
の春から夏にかけてさらなる主  
の導きと出会いがあり、KBI  
から徒歩五分圏内の場所に四百  
坪の土地、二階建て住居二軒、  
集会所となる離れ一軒（二階建  
て）の施設を購入できました。  
リフォームも進み、この十月か  
ら使用可能です。コース以外の  
期間は多目的に利用いただけま  
す。

現在このコースの希望者を募  
集中です。KBIはいよいよ宣  
教的、国際的になっていきます。  
国内の外国人教会との協働も視  
野に入ってきます。この新しい  
企てのためにぜひお祈りくださ  
い。



**宣教ウィークとは**  
 毎年六月中旬に、四〜五名のチームで全国様々な地域へ出かけて行って(GO-TO)福音を届けるプログラムです。祈りによって導かれる不思議な出会いと魂の救いは、大きな喜びです。

**神様の計画のページ**

一年 鍛冶 真理耶

私の夫が牧会する洛西上里チャペルでは、今年始まった教会学校の活動場所がなく、物置となっていた会堂の二階を改装予定でした。しかし作業に当たれる人も時間もなく、いつまでかかるだろう...と置いていた頃、宣教ウィークの行き先が洛西に決まったのでした。以前、教会で改装について話し合った時、二階の壁を青空と虹で彩りたいというビジョンがありました。そんな中、神様の不思議な導きで、教会員のBさんが所属する地域の親子サークルが、一緒に壁の色塗りをしたいと声をかけてくださったのです。宣教ウィーク中に、チームで協力して何とか改装を間に合わせ、親子を招いて壁塗りイベントを行うこと

ができました。地域の親子と教会がつながることを祈ってきたBさんと私にとって、神様のご計画を感じずにはいられない出来事でした。



**祝福の神**

三年 山本 由美

今回、私たちは富山に行きました。メンバーの旧友や親族の訪問、教会での交わり会、トラック配布などの計画を立てました。出会った人たちには話の流れで伝道することにして、当日に向けてチームで毎日祈りを積んでいきました。この祈りに主はどのように応えて下さるのだ

ろう。期待と不安の入り混じった思いがありました。実際に行ってみると、予定になかった人々との出会いや伝道の機会があり、喜びと共に励ましも受けることができました。メンバーの親族を訪問した際は、一人が話を切り出し、一人と一緒に民謡を歌い、また一人は優しくその方の話に寄り添って聞いていました。チームで知恵を出し合い、協力して宣教できたことがとても嬉しかったです。神様は祈りに応え、予想以上に多くの祝福を与えて下さり、神様に愛されていることを実感しました。



# 『聖書カウンセリングコース』を受けて

イエス・キリストこそ解決

二年 中島 豊

サウスウエスタン・バプテスト神学校という世界で最も大きな聖書学校から、オキナガ博士がKBIに来てくださいました。自殺者数の多い日本に蔓延する鬱、不安症の方々の助けになればというオキナガ博士の願いから、開催に至りました。KBIの学生以外にも全国各地から多くの参加者が集い、聖書カウンセリングについて学ぶ貴重な機会となりました。

聖書カウンセリングは、神が癒し主であるという信仰を土台に、みことばに基づいて祈りの生活をしているカウンセラーが行います。①相談者の話しをよく聞き、②十字架を紹介し、③適切な聖書箇所を開いて読み、④聖霊様が相談者の心を癒していく働きです。

特に教えられたことは、相談者がノンクリスチャンである場

合は福音を伝えて救いに導き、そこから根本的な問題にみことばを通して光を照らし、解決へ導くということでした。

相談者の問題は様々ですが、その原因は何かしらの罪です。聖霊様により頼み、聖書のみことばを用いて愛をもって接する時に、癒し主なる神様が罪から解放してくださいることを学びました。「イエス・キリストこそ解決です。」という言葉に励まされました。これから、悩み苦しむ人々に対して、聖霊様により頼みつつ十字架へと導き、みことばを分かち合っていきたいです。



6/27~29開催 講師のオキナガ博士

# カイロスコースの証し

二年 中島 愛来

私は宣教師の召しを受けてKBIに入学しました。カイロスコースでは、より深く宣教について学ぶことができました。

このコースを通して、パウロが何とかして何人かでも救うために、相手の国の文化と習慣に適應する努力をしたことを知って感動しました。それがどれだけ難しく大変なことか、そして愛溢れる行為であるかを考えさせられました。

私は今、A国の救いを祈っています。しかし果たしてA国人に対してパウロと同じようにできているだろうか。いや、できていませんでした。

以前A国の市場に行った際、お店の人が、外国人の私に対して現地の人より高い値段を言ってきました。日本なら値段があり、人によって値段が変わることとはありませんが、値段交渉をするのがA国の文化だったので。しかしA国語を話せない私

は、交渉ができない。将来ここに宣教師として住むことを考えると、「毎日このもどかしさが続くのか」と想像し、文化適應の難しさを知りました。

今回のカイロスの学びを受けて、私もパウロのように相手の文化に適應したいと思い、「A国人を何とかして救いたい」と初めて祈りました。この変化は私にとって大きな収穫となりました。

すべての人に、すべてのものとなりました。何とかして、何人かでも救うためです。

第一コリント 九章二十二節



A国にて

## リトリートを体験して

## 一年 二宮 愛

スピリチュアル・フォーメーションという授業のプログラムで、日常から離れ、ただ主の前に心と時間を差し出し、主の語られることを聞くという一泊二日のリトリートに行ってきました。

毎日のデボーションとは違って、神様の造られた自然に身を置き、五感で神さまの存在を感じながら、ゆったりと流れる時間を過ごします。その中で心を主に向け、より深く主との交わりを持つことができました。いくつかの御言葉を通して、心の深い部分にあるものを示されました。過去に負ってきた傷や今まで気付くことができていなかった罪に気付かされ、悔い改めへと導かれました。しかし悔い改めに導かれるまでの道のりでは自我との葛藤があり、心が揺さぶられました。

一日目の夜に、小山健師より、ヨハネ四章三〜二十九節からメッセージが語られました。イ

エス様は、サマリアの女が最も触れられたいところに触れられました。それは、イエス様の与える水を飲む者の内で、永遠へのいのちの水が湧き出るようになるためでした。ここから、罪深く頑なな私を、何度も赦し続け、生ける水を溢れさせてくださる主に自分を明け渡していただくという思いが与えられました。これからも、主との深い交わりに導かれていることを感謝します。



## 授業紹介 『旧約概論』

## チャペルこひつじ

## KBI教師 鷹取 裕成

クリスチャンでも、旧約聖書をあまり読んだことがないという人が、案外多いようです。ペリジ数が多いことと、わかりにくい箇所が多いためでしょう。「創世記」のような有名な書は読んだことがあり、教会のメッセージで所々は聞いていても、全体としてはよくわからないという人が多いのではないのでしょうか。

実は、旧約聖書は二千年間の信仰者たちの壮大な歴史です。この授業では、その歴史の流れを知っていただくことを第一の目的としています。同時に旧約聖書には、信仰者の現実の生き様が記録され、現実の中で神が語られた言葉が収められています。信仰的には、私たちの主の直接の教えとお働きが書かれた新約聖書のほうが重要ですが、信仰者の現実の生き様は、反面教師の例も含めて、旧約聖書のほうがはるかに豊かです。実際、

旧約聖書の言葉が案外多いように思いますし、教会学校で使われる題材も旧約聖書が多いようです。この授業では、そのような旧約聖書にある宝のようなお話や言葉を知っていただくことを第二の目的としています。そのため、できるだけ視聴覚教材を用いて印象が残るようにしています。また、旧約聖書の出来事背景となっている古代世界の歴史も紹介するよう心がけています。



地域 伝道

神様の愛を地域へ

三年 石田 飛鳥

二〇二二年、KBIのチャリティーバザーの一環でカフェを行い、二〇二三年は三年生が不定期で地域の方の為にカフェをしていました。先輩方から引き継いだ今年、地域の方にイエス様を少しでも紹介したいという思いがありました。今まで関係づくりを重視してきましたが、今回は神様の力を信じて、積極的に福音を語っていく、というチャレンジが与えられました。

七月に実施したカフェでは、まず賛美をして、神様はどんな時も良いお方であること、一人ひとりを愛しておられることを伝えました。またショートメッセージで、富浦先生が「二つの本音」を伝えて下さいました。一つは、福音を聴いてもらうためにこのカフェをしていること。次に、イエス様を信じ永遠のいのちを受け取ってほしいと願っているということ。そこには自然に流れていく聖霊の導きと平安がありました。

その中で、イエス様のことを

知りたいという思いが一人の女性に起こされました。今では教会に繋がり、バイブルスタディーが始まっています。このように、神様は私たちの思いを遥かに超えて働いてくださいます。これからも私たちが地域の方の為にとりなし祈り、仕えていきたいです。神様が、地域を愛することを行わせてくださいます。この地域に、他では味わうことのできない神の愛が溢れるよう祈ります。



こうやって仕えています

排他的な村社会に福音をもたらすために

カフェ店主 K・K

日本は面積の大部分が田舎であり、そこには宣教最前線の要配慮国並みか、それ以上の因習深いキリストアレルギーと土着の信仰と排他的な村社会が広がっています。これが日本の正体なのかもしれません。私たちはそういう地域の人たちが喜んで集い、話をし、共に歩める存在になりたいと願い、教会未設置地域に移住し、カフェを始めました。使徒の働き二章に現わされたような、枝葉を取り除いた時に残る教会の本質を考えると、イエス様を中心にお迎えすればカフェはその機能をほぼ兼ね備えているのではないかと個人的には思っています。

町内の高齢者や若い方々、そして遠近問わず連日多くのお客様が来店され、すごい出席率の常連さんも与えられています。そして不思議な出会いで一緒に礼拝したいというお客さんが与えられ、九月からカフェ礼拝も

始まりました。

「教会がカフェをやって人を招く」のも素晴らしい。しかし現状の教会数では日本全体をカバーしきれません。「カフェが教会になる」というカウンタームーブメントの動きはパワフルだと信じています。

私は夢見ています。カフェに限らず今すでに存在している喫茶店、パン屋、オフィス、作業所、施設、サークル、そして家庭：その中に存在しているクリスチャンが思いをもって「ここを教会にしていく」という動きになれば教会は見境なく増えることができる、と。





Since 1961

# 2025年度 新入生募集

◆ 本科コース (1年間・3年間)  
◆ 短期コース (3週間) 期間: 4月8日~26日  
応募締切: 2025年2月28日

◇ CPRC教会開拓・刷新コース ◇ MTC宣教師訓練コース  
◇ 通信教育コース (本科編入コース・生涯学習コース)

全寮制・実践科目も充実。世界宣教の達成を目指す実践的働き人の育成。

詳しくは↓  




関西聖書学院別館(国際部)内部

ま(で)の連絡下さい。  
kbi-mark117@ares.eonet.ne.jp

二〇二四年十月一日より郵便料金が改定されました。これを受けて、次号よりKBIニュースのメールアドレスを開始いたします。ご協力頂ける方は、

● KBI ニュース

● メール配信の希望について

● 三橋恵之矩師  
札幌キリスト福音館 牧師就任  
二〇二四年六月

● 結婚おめでとうございます  
神澤晏児師 (二〇二一年度卒) と  
福井歩姉 (二〇二一年度卒)

● 二〇二四年七月十三日  
二〇二四年七月十三日

● 二〇二四年九月二十三日  
二〇二四年九月二十三日

● 二〇二四年十月十五日  
二〇二四年十月十五日

## 献金を感謝いたします

献金者ご芳名 (敬称略・順不同) (2024.5.21 ~ 2024.10.10) (KBI への直接献金分)

### ■一般会計献金

#### <KBI を支える会>

個人: 安黒務、熊谷雄二、黄金井尚美、斎藤邦夫、兼松道子、安野清子、石崎政登、高橋めぐみ、加賀清孝、梶川光・志帆、シンカワジュンイチ、井野葉由美、中島若樹、松本亜紀子、熊本直美、船戸頼子、鶴野英子、酒井哲男、藪内正顕、宮下真由美、Andreas Hauw、増永弘、秋元清友、小口雅人、大塚マリ、田野秀康、二口啓一・千里、森敏・雅子、金森洋三、宮腰美喜、嶋林泰代、吉岡家子、匿名希望4件  
教会 & 団体: 狭山福音教会、八尾南福音教会出戸バイブルチャーチ、カナン・プレイズ・チャーチ、浜松汀キリスト教会、奈良福音教会、尾上聖愛教会、鈴鹿キリスト福音教会、旭川神愛キリスト教会、京都シオンの丘キリスト教会、チャペル犬山、奈良ブレッシングチャーチ、山の辺キリスト教会、可児福音教会、ゴスペルユーアイ、東栄福音キリスト教会、北九州チャペル、ゴスペルチャーチ千里、東京チャペル、金沢こころチャペル

#### <運営支援献金>

日本福音教会 (JEC)、美濃グレースチャーチ、御殿場純福音キリスト教会、岐阜純福音教会、ベタニヤ・クリスチャン・アッセンブリーズ、保土ヶ谷純福音教会、岐阜

ライフチャーチ、ジャパン・ベサニー・ミッション、フィラデルフィヤチャーチ (シアトル)

#### <特別献金>

##### 1. 建設基金献金

個人: 春名裕

教会&団体: 秦野クリスチャンセンター

##### 2. その他

個人: 宮前愛子、タン・ポー・チュウ、朴シネ、森昭、Bryan Tantzen、後山慎治

教会 & 団体: 釧路リバイバルキリスト教会庭の家チャペル、高岡バプテスト教会、小松島チャペル、八尾福音教会曙チャペル、八木山聖書バプテスト教会、ZEAL 実行委員会、八尾福音教会、KBI 生有志 (F ファミリー) KBI カフェ (スタッフ開催)

#### ■奨学基金献金

個人: 仲村典子、竹川正英、西孝司、豊村恵悟・みちる、森本裕・眞美子、芝連代、

教会&団体: 八尾福音教会

※KBI への直接献金分のみ記載しています。各団体に献金して下さっている場合、ご要望がない場合教会名でなくその団体名を記載しています。どうぞご了承ください。